

## 第2回府中市子ども・子育て会議報告書

- 1 日 時：令和6年7月25日（木）13：15～14：40
- 2 場 所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：吉原 純（会長） 金子 努（副会長）  
廣瀬 和彦（委員） 板橋 千代美（委員）  
河村 昌子（委員） 土井 健嗣（委員）  
宗藤 正典（委員） 田中 いづみ（委員）

### 4 概 要

- (1) 開会
- (2) 議事

#### ① 第3期府中市子ども・子育て支援事業計画について

- ・第2期計画の評価
- ・第3期計画策定のための調査
  - 関係機関へのヒアリング
  - 市民（保護者）へのニーズ調査及びこどもの意見反映アンケート調査結果について

#### ② ヤングケアラーに関する実態調査結果について

#### ③ 若者の意見反映について

- (3) その他
- (4) 閉会

以下、主な質疑及び意見等

#### 【議事①】 第3期府中市子ども・子育て支援事業計画について

質 問 第2期計画の評価の中で、市内企業の働き方改革の推進を目的として、市独自となる「府中市多様な人材活躍実践企業認定制度」を創設したとある。始まったばかりの制度ではあるが、この制度について認識がなかった。やはりこういう制度について広めるためにPRは必要だと思う。

質 問 女性の働く機会を応援する環境整備について、進捗度Cがあるのだが、どんな点についてできなかったのか。

事務局 コロナ禍以前は、県と市と一緒に企業を回らせていただいて認定制度などの説明などさせていただいていたが、コロナ禍になり企業訪問をすることができなくなるなど、対面での事業ができなくなったことが大きい。

質 問 病児保育事業は、市内企業等に就労する市外居住世帯について利用拡大し、市内企業に就労する保護者の就労環境整備に取り組みましたとあるが、具体的にはどのような取り組みか。

事務局 以前は市内在住者のみを対象とした制度だったが、現在は市外在住の児童についても保護者が市内の企業に就労している場合は利用が可能となっている。

質 問 ニーズ調査の中で、「病児・病後児のための保育施設等を利用したいか」のところで、利用したいと思わないが多いのが意外だった。実際に病児・病後児保育は府中市民病院でしており、当日の利用ができない、利用料が2000円かかるということで、そういった意味で利用したくないのではないか。利用したくないのではなく、利用したいけどできないといったことがあるのではないか。

事務局 修正をさせていただくが、現在は当日予約もできる。朝10時までの予約であれば利用できるよう改善している。ただ利用にあたっては、子どもの情報をこちら側も正確に知らなければいけないため、詳しく質問させていただくこともある。できれば事前に登録をしておいていただくのが一番スムーズに運ぶ。利用したいと思わないという問いだけなので、利用したいけどできないのかということはこちらだけでははかれないと考えている。  
ご意見の中には、保護者の気持ちとして、病気の子どもを家で看たいということもある。急に知らない施設に預けることへ抵抗を感じるというご意見もいただいている。

## 【議事②】府中市ヤングケアラーに関する実態調査結果について

質 問 ヤングケアラーの調査について、アンケートの回収率が低いような気がする。このことについて事務局はどのように捉えているのか。

事務局 回答率が低かった、無回答の数値が一番高かったということは、ヤングケアラーに関心がない、わからないといったところがあるのかなと思う。これから周知が大切だと思っている。

意 見 微妙でデリケートなところがある。無回答でしか出せない。もう一つは知識としてない。ヤングケアラーという言葉自体も知らない。だから、あてはまるもあてはまらないもない。わからないから無回答という形に流れて行っているのではないかと思う。

意見 埋もれているところをどう見つけて助けていくか、そして助けてもらえるんだよということをどう伝えていくかということが計画にも必要

**【議事③】若者の意見反映について**

意見 気楽に参加して、こんな意見でも言ってもいいのだという雰囲気づくりが必要。

事務局 若者の意見を一方的に聞くのではなく、意見をいただいたことに対して委員も返していただくようなやり取りができる形を検討している。

※全議事了承